

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・公共	普通科 2年	2	新版公共(数研出版)	・ズームアップ公共資料2023(実教出版) ・スタディノート公共(数研出版)
科目の概要と目標	(1)現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (2)現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 (3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。			
単元	内容のまとめ	単元の目標		
1章 公共的な空間をつくる私たち	1節 青年期と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。</li> <li>・自己形成の課題について考察する。</li> <li>・よりよく生きることについての自覚を深める。</li> </ul>		
	2節 人間としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代ギリシアや中国の思想家の思想や三大宗教の内容が理解できている。</li> <li>・先哲の思想や宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができる。</li> </ul>		
	3節 日本人としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代・中世・近世・近代の日本の思想家の思想内容が理解できている。</li> <li>・生活文化や伝統が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができる。</li> </ul>		
2章 公共的な空間における人間としてのあり方 生き方	1節 西洋近現代の思想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。</li> <li>・先人の生き方を通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方を考察できる。</li> </ul>		
	2節 現代の諸課題と倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。</li> <li>・公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できる。</li> </ul>		
3章 公共的な空間における基本原理	1節 民主社会の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法などの社会規範の役割が理解でき、日常生活と関連づけて考察できる。</li> <li>・民主政治のあゆみが理解できている。</li> <li>・民主政治における国家と個人のあり方が考察できる。</li> </ul>		
	2節 日本社会の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の三大原理や第9条の内容が理解できる。</li> <li>・日本国憲法で保障されている権利が理解できる。</li> <li>・日本国憲法で保障されている権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ、その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察できる。</li> <li>・国際情勢の変化にともない、日本の平和主義のあり方がどう変化していったのか考察できる。</li> </ul>		
4章 現代の民主政治と政治参加の意義	1節 日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割が理解できる。</li> <li>・行政機能が拡大している現状を理解する。</li> <li>・行政機能拡大の是非について主体的に考察できる。</li> </ul>		
	2節 政治参加と民主政治の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙のしくみが理解できる。</li> <li>・政党の役割を理解できる。</li> <li>・地方自治の現状と課題が理解できる。</li> <li>・選挙制度によって政党政治の形態が変化することに気付くことができる。</li> <li>・各党の綱領を調べ、その政策を知ることができる。</li> <li>・日本の政治について課題を発見し、解決する見通しが持てる。</li> <li>・住民投票など身近な地域で行われてる例を調べ、報告できる。</li> </ul>		
5章 現代の経済社会と経済活動のあり方	1節 経済のしくみと市場機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の企業の果たしている役割が理解できる。</li> <li>・市場経済のメカニズムが理解できる。</li> <li>・各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができる。</li> <li>・現代の企業倫理について考察できる。</li> <li>・現代の資本主義経済でケインズ主義の有効な部分と改善すべき部分が判断できる。</li> <li>・需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できる。</li> </ul>		
	2節 財政と金融	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府が経済に果たしている役割を理解できる。</li> <li>・金融・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できる。</li> <li>・GDPが大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分なりに判断できる。</li> <li>・不況や好況など景気の先行きが判断でき、自ら経済の動向を予測できる。</li> </ul>		
	3節 日本経済の発展と変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後日本経済のあゆみが理解できる。</li> <li>・産業構造の変化と職業選択との関係や、中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解できる。</li> <li>・経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できる。</li> </ul>		
	4節 豊かな生活と福祉の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私法・契約の原則やその修正について理解できる。</li> <li>・雇用・労働問題や社会保障について理解できる。</li> <li>・公害がなぜ発生したのかを考察できる。</li> <li>・雇用・労働問題や社会保障・福祉について課題を発見し、解決の方法を考察できる。</li> </ul>		
6章 国際社会の動向と日本の役割	1節 国際政治の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できる。</li> <li>・国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できる。</li> <li>・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できる。</li> <li>・集団安全保障がなぜ有効なのか考察できる。</li> <li>・国連の現状と課題について考察できる。</li> </ul>		
	2節 国際政治の課題と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できる。</li> <li>・核軍縮から核軍縮への流れが理解できる。</li> <li>・現代の世界の紛争や人権問題について理解できる。</li> <li>・国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明できる。</li> </ul>		
	3節 国際経済の動向と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易や外国為替相場について、そのしくみが理解できる。</li> <li>・戦後の国際経済の流れが理解できる。</li> <li>・地域経済統合が進んでいる世界の現状が理解できる。</li> <li>・外務省や国連のホームページなどを参照し、国際社会や各国の課題を知ることができる。</li> <li>・円高などの為替相場の変動が経済にどのような影響を与えるのか考察できる。</li> <li>・発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの克服のために自らがどのようなことができるか考えることができる。</li> </ul>		